

△ お手入れ上の注意

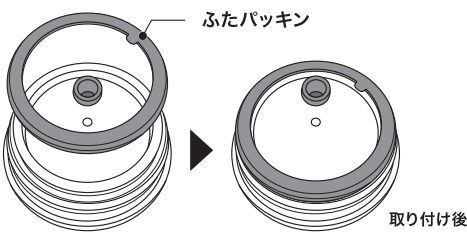
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体やふたユニット、ストローの煮沸はしないでください。
変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 酸素系漂白剤は本体外びん(塗装面)にはご使用いただけません。
塗装が劣化するおそれがあります。
- 本体、ふたユニット、ストローの浸け置き洗いはしないでください。
- ふたユニット、ストローを本体に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でこなしてください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。
- スポーツ飲料を入れた時は、使用後すぐにお手入れをしてください。
においの付着やサビ等の原因になります。
- 食器洗い乾燥機を使用する際、次の点を必ず守ってください。
 - 本体・ふたユニット・飲み口・パッキンは、それぞれ取りはずした状態で洗浄してください。
内部に水分が残り、におい、汚れ、劣化の原因となるおそれがあります。パッキンは洗浄時の紛失にご注意ください。
 - ストローは食器洗い乾燥機を使用しないでください。
変形の原因になります。
 - ヒーター付近や温風吹き出し口の近くには置かないでください。
高温により変形、変色の原因となります。
 - 食器がこの金属(無塗装)部分に本体が直接触れないようにしてください。
塗装の劣化、キズ、変形の原因となります。
 - 業務用の食器洗い乾燥機では使用しないでください。

部品の取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。
お手入れなどで部品を取りはずした後は、正しく取り付けてください。

ふたパッキン

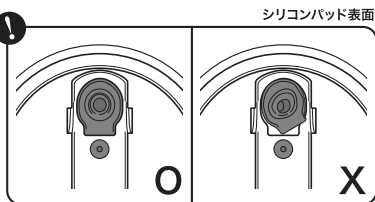
ふたパッキンとふたの凹凸の位置を合わせて、しっかりととはめ込んでください。
指で押して、浮き上がっている部分がないことを確認してください。



注意：パッキンの紛失や誤飲には十分お気をつけください。
注意：パッキン位置、形状が異なる場合がございます。現物の確認をお願いします。

ストロー

ストローの平らな端をシリコンパッドにしっかり取り付けてください。



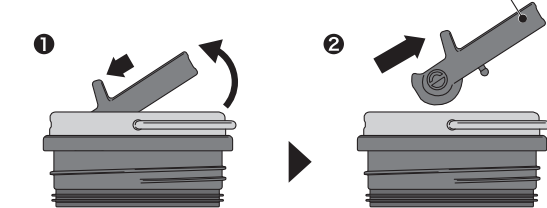
※ストローを取り付けた後、シリコンパッドの表面が凹凸部に正しくはまっていることをご確認ください。
正しくははまっていないと、飲みものが漏れるおそれがあります。

※シリコンパッドは取りはずせません。
無理に取りはずそうとすると破損の原因になります。

飲み口の取りはずし方

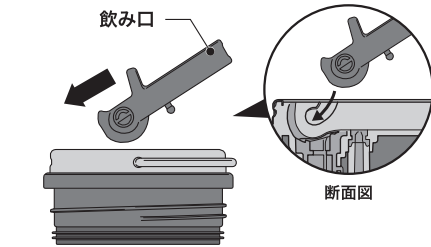
- ①飲み口を矢印の方向に引き起こします。(約45度)
- ②矢印の方向に引き抜きます。

※間違った方向に無理に引き抜くと破損・故障の原因になります。
方向を確かめながら引き抜いてください。



飲み口の取り付け方

飲み口の凸部をふた内部にある凹部に合わせ、矢印の方向(約45度)にしっかりと押し込んで取り付けてください。



製品仕様

品名	AWSR-500	AWSR-700	AWSR-1000	AWSR-1200
本 体	ステンレス製携帯用魔法瓶			
材 料 の 種 類	内びん/ステンレス鋼			
	胴 部/ステンレス鋼(樹脂塗装)			
	口 金/ステンレス鋼			
	飲 み 口 ポリプロピレン			
	ふ た カ バ ー ステンレス鋼			
	シリコンパッド シリコンゴム			
	ふ た ポリプロピレン			
ス ト ロ ー	PE 樹脂			
パ ッ キ ン	シリコンゴム			
底カバー(1.0L/2.0L)	シリコンゴム			
実 容 量	0.5L	0.7L	1.0L	1.2L
保冷効力(6時間後)	9℃以下			8℃以下

※保冷効力とは室温20℃±2℃において製品に冷水をふたユニットの下端まで入れ、水温4℃±1℃になったとき、ふたユニットをして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその水の温度です。

※実容量とは、ふたパッキンまでの全容量です。ご使用の際は取扱説明書をご確認のうえ、適切な量を入れてご使用ください。

MADE IN CHINA

交換部品

●パッキン、ストロー、飲み口、底カバーは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>

お問い合わせ
TEL.042-660-8870
受付時間/9:00~18:00
月~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。

食洗機
対応

ハンドル付き
フリップストローボトル

●各部のなまえ

取扱説明書

AWSRシリーズ

このたびは、当社のフリップストローボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。
また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

ご使用前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、ふたユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールは、はがさないください。
- はじめてご使用になるときは、本体内側・ふたユニットを食器用洗剤につけたスポンジなどでよく洗ってください。

保冷
専用

※イラストは実際のものと異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

⚠ ご使用上の注意 保冷専用

警告 ●この商品は、保冷専用です。
熱いものは絶対に入れないでください。やけどの原因になります。

注意 ●乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
また、いたずらには注意してください。
●飲みものの保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。
●冷たい飲みものを入れて結露する場合は、構造上不具合のある可能性がありますので使用しないでください。

●ふたユニットは必ずはずしてから飲みものを入れてください。
ふたユニットを付けたまま飲みものを入れると、飲みものが飛散して、ものを汚す原因になります。

●飲みものの量は、取扱説明書4ページ右下の図を参考にしてください。
入れすぎるとふたユニットが開かなくなったり、締めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れてものを汚す原因になり危険です。

●大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。
キズが付くおそれや飲みものが溢れる原因となります。

●部品が正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。(8ページ参照)
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
部品の取りはずしの際には紛失及び未装着に注意してください。

●ふたユニット・飲み口を締めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
飲みものが溢れ出す原因になります。また、漏れてものを汚す原因になり危険です。

●ふたユニット・飲み口が確実に締まっていることを確認してください。
締め方が不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。

●ストープやコンロなど火気のそばに近づけないでください。やけどや製品の変形・変色の原因になります。

●電子レンジで加熱しないでください。火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

●冷凍庫には入れないでください。

●飲み終わったら、本体を立て、飲み口を確実に押し込んでください。
本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。

●ストローで遊ばないでください。

●飲みものを入れて持ち運ぶ際は、本体を傾けすぎないようにしてください。
飲みものが漏れるおそれがあります。

●製品の構造上、湿度が高いときにふたユニット・飲み口部分に水滴がつく場合があります。ご注意ください。

●飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

●次のものは絶対に入れないでください。

- アルコール類
- ドライアイス・炭酸飲料水
内圧が上がり、飲みものが噴き出したり、ふたユニット・飲み口が破損して飛散することがあり危険です。
- 牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、飲みものが噴き出したり、ふたユニット・飲み口が破損して飛散することがあり危険です。
- お茶の葉・果肉
すきまなどにつまり、漏れてものを汚す原因になります。

●においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
6ページの「お手入れ方法」に従って、汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

●飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、飲みものが噴き出したり、ふたユニット・飲み口が破損して飛散することがあり危険です。

●お茶などは早めにお飲みください。長時間保存するとお茶の色や味が変わります。

●落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保冷不良の原因になります。また、ふたユニットの破損の原因になります。

●改造・修理・分解は絶対にしないでください。破損、事故の原因となり危険です。

●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。万一の漏れを防ぎます。

●パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一内容物が漏れた場合、精密機器の故障の原因になるおそれがあります。

●持ち運ぶ際は、ふたユニットをきちんと締め、本体がハンドルを持って運んでください。

●本体やハンドルを持って振り回すのはやめてください。破損、事故の原因になります。

●運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、ものを汚す原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分ですと破損したり、はずれて落下のおそれがあり危険です。

●使用により本体の塗装は徐々に劣化するおそれがあります。

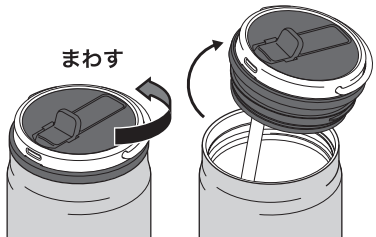
●強い振動や温度変化などにより本体内部の圧力が高まった場合、ふたユニット・飲み口を開ける際に空気穴や飲み口先端から飲みものが噴き出すことがあります。ご注意ください。

ご使用方法

ご使用の前に ●はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
●製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

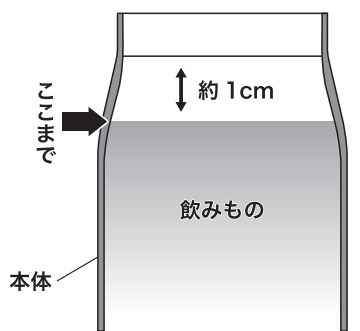
1 ふたユニットをはずす

ふたユニットを矢印の方向へまわしてはずします。



2 飲みものを入れる

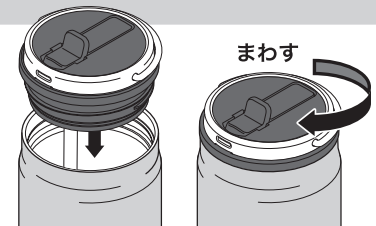
飲みものの量は、右図の 部までにしてください。入れすぎるとふたユニットを締めたときに中身が溢れる場合があります。
入れすぎた場合は、減らしてから、ふたユニットを締めてください。



※あらかじめ、本体に少量の冷水を入れ、1分程度置き、予冷してから入れ替えると保冷に効果的です。

3 ふたユニットを締める

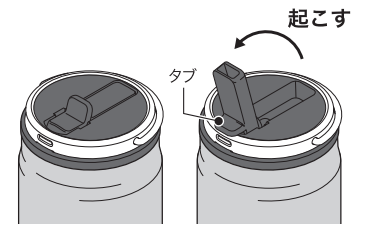
ふたユニットを矢印の方向へまわして締めます。



※ストローを確実に取り付けてからふたユニットを締めてください。

4 飲みものを飲む

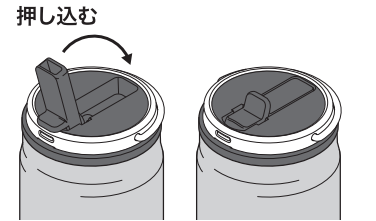
本体を立てて飲み口を矢印の方向へ上げて、飲み口のタブが止まる位置まで起こします。
飲みものを飲み口から飲んでください。



※飲み口に残っていた水滴が飛散することがありますので、ご注意ください。

5 飲み終わったら

本体を立てて飲み口を矢印の方向へ確実に押し込んでください。
本体を傾けて漏れのないことを確認してください。



※飲み口を完全に押し込むことで止水されます。

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

本体(外側・内側)
ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキンに含ませて洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

ふたユニット
丸洗いでできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

部品
ふたパッキン・飲み口・ストローをふたユニットから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いをし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

食器洗い乾燥機を使用する場合
ご使用になる食器洗い乾燥機の取扱説明書をご確認のうえ、使用してください。

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には

サビのような赤い斑点ができた場合
水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分程度放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合
水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、ふたユニットを取り付けず3時間程度放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

食洗機を使い、塗装面が白く変色した場合

白く変色したように見える場合は、食器洗い乾燥機用洗剤の成分や、水垢・カルキが付着しているおそれがあります。気になる箇所は熱湯をかけ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。ぬれたまま放置すると、水滴の跡が残る原因になります。本体が熱くなりますので、やけどに十分ご注意ください。